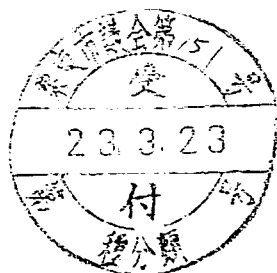


意見書案第 49 号



介護制度の改善を求める意見書


上記、議案書を別紙のとおり提出します

平成23年 3月23日


栗東市議会


議長 高野正勝様

提出者 栗東市議会議員

大西時子 

賛成者 栗東市議会議員

國松清太郎 

太田若美 

## 介護制度の改善を求める意見書（案）

介護保険制度は、２０００年に「介護の社会化」により、誰もが安心して介護が受けられるようにという目的で創設され、１０年が経過しました。介護認定者や受給者は増え続け、介護給付費も大幅に増加しています。その一方で、保険料や利用料の負担も重く、サービスの利用を控えざるを得ない事態も広がっています。

全国での特別養護老人ホームの待機者は４２万人にものぼり、介護殺人・介護心中といった痛ましい事件もここ数年で５０件以上発生するなど、家族の介護負担は深刻になっています。

介護報酬の３％が引き上げられたものの、労働条件の抜本的改善や人手不足の解消など、介護の現場の困難を解消するには、ほど遠いのが現実です。

介護サービス充実のためには、介護にかかる公費負担の引き上げが求められているにもかかわらず、厚生労働省の介護保険制度改定案は、公費負担の引き上げは認めない内容となっています。これでは「負担あって、介護なし」と言われる介護保険の実態を、一層深刻化することにしかありません。

介護保険制度への公的負担を大幅に増やし、誰もが安心して老後が送れるよう、介護制度の改善・充実を求めます。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出します。

平成２３年３月 日  
栗東市議会  
議 長 高野正勝

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣